

## 令和7年度 蒲郡市地域強靱化計画推進会議 議事録<概要>

令和8年1月16日開催

### <事務局：危機管理課>

本会議は、令和3年度に策定した蒲郡市地域強靱化計画の進捗状況を、外部有識者のご意見を交えながら確認することを目的として開催する。

本計画の最終年度は令和7年度で、4月から改定に向けて作業を行い、1月8日から2月6日の期間でパブリックコメントを実施している。

本日の資料は、事前に送付した資料1「重要業績指標一覧」、資料2「個別具体的施策の事業詳細」及び冊子の「資料：進捗状況報告」の3点。

なお、事前質問はいただいているが、議事を進める中で不明な点があれば議題の終了時に質問時間を設ける。

本会議の座長は、設置要綱第5条により構成員のうちから市長が指名するものとなっており、本日の座長は、本市の永島危機管理監にお願いしたい。

### <座長：永島危機管理監>

本会議は、本計画を効果的に推進するため、各取組主体が進めていく強靱化に資する推進施策・事業をリスクシナリオごとに整理し、外部有識者を交えて毎年の進捗状況や指標に基づく目標の達成状況を把握しつつ、計画・実施・評価・改善のPDCAサイクルを回しながら進捗を確認する。

### <議題2 令和7年度の進捗状況>

#### <事務局：危機管理課>

議題2(1)、本市では事前に備えるべき目標として、「直接死を最大限防ぐ」など、8つの目標を設定し、その目標に付随する「起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)」として、「1-1住宅・建築物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生」を始めとして、43のリスクシナリオを設定した。

資料に一例として計画本編29ページから推進方針「1-1-①住宅・建築物の耐震化の促進」を抜粋し掲載した。赤丸で囲んだ重要業績指標は本市が強靱化を進めるために設定している指標で、この例では、建築住宅課が住宅の耐震化率を令和8年度には71%にすると設定している。進捗が停滞している理由として、耐震改修の費用負担の大きさに加え、将来住み続けるか不明等の事情や、空き家の改修が停滞しているためと推測される。

危機管理課の安心ひろめーる登録者数は、目標値に対し達成率は74.5%に留まった。理由は令和5年度から市の公式LINEでひろめーると同じ内容の緊

急情報が受信できるようになったことが一因と考えている。そのため、改定後の計画では指標名を「緊急重要情報登録率」と変え、市公式LINEとひろめーる両方の登録率を管理する。

配布資料「(改定案) 資料4 関連事業一覧」は、現在パブリックコメントを実施している改定案から資料1に該当する部分を抜粋したもので、ここにある27事業のうち新たに記載したものは5事業、現計画から引き続きの事業は22ある。

議題2(2)、資料2「個別具体的施策の事業詳細」では、各課の事業のうち、国の国土強靱化予算の補助金に関連する30事業を抜き出した。計画本編では、この資料2の補助金関連事業は185ページに記載してある。これは強靱化計画を推進するにあたり非常に重要なもので、毎年の進捗状況を公表する必要があり、本市では市のホームページ上で公表している。この令和7年度の進捗状況は、令和8年4月に公開する予定。

#### <座長：永島危機管理監>

ただ今、事務局から説明があった進捗状況について、ご意見・ご質問があれば、事務局から説明を。

— 意見、質問なし —

#### <議題3 今後の進め方について>

##### <事務局：危機管理課>

本計画は令和7年度が最終年度であり、4月から改定に向けて作業を行い、現在、パブリックコメントを実施している。冊子の資料に改定案を掲載した。愛知県の計画に合せ、現計画で8つあった目標を改定後は6つに、43あったリスクシナリオを31に整理した。現計画の目標を整理し、似通った内容のリスクシナリオの集約などを行った。

資料11ページは補助金関連事業で、こちらに記載した事業については資料2の個別具体的施策の事業詳細を作成し、進捗状況は来年度以降もこの会議にて報告する。

<終了>